令和七年度 夏季 鎌倉俳句&ハイク

期　間　令和七年五月一日～令和七年七月末

選　者　星野椿、星野高士

投句数　一、二七四句

特選三句

天地

鯉幟はちきれそうな海の風
神奈川県鎌倉市　阿部　史江

新緑の若宮大路海に果つ
東京都足立区　山﨑　勝久

人

捨て甕に糸より細き目高の子
神奈川県横浜市　遠藤　清子

入選句

一般の部（十五句）

夏めくやインバウンドの寺社参り
大阪府豊中市　安藤　知明

三門に法話の美声耳涼し
神奈川県横浜市　池乗　恵美子

松竹の撮映所跡緑さす
神奈川県横浜市　石塚　和矢

良縁を祈る紫陽花三分咲き
神奈川県横浜市　小田　佳南

薫風に文士の墓を詣でけり
神奈川県横浜市　加藤　文男

行儀良く並んで田植え終わりけり
神奈川県横浜市　木下　明浩

りす登る木々の梢に蝉しぐれ
山梨県北杜市　小林　明子

青梅の甘煮コトコト昼下がり
東京都日野市　佐藤　由香

涼しさや杉板に座す閻魔像
埼玉県川口市　髙梨　孝

参道に泰山木の香を纏ひ
埼玉県桶川市　高野　泰恵

若葉して八百年の都かな
神奈川県藤沢市　武　正義

紫陽花や江の島遠く友思ふ
神奈川県横浜市　綱川　恵理香

雨の日の夕刊遅し濃紫陽花
神奈川県横浜市　内藤　教雄

五月雨を浴びて大仏佗めり
福島県福島市　仲野　淳子

夏休み鎌倉と書く予定帳
神奈川県大和市　長谷部　誠一

子どもの部（十五句）

長谷寺であじさいを見て安らぎを
山梨県北杜市　磯山　舜

江ノ電とすれ違う夏海ひかる
千葉県市川市　伊東　怜

報国寺静まり返る蝉の声
山梨県北杜市　加藤　蒼ノ介

新緑の風と自由の父子旅
群馬県前橋市　金井　湊

夏の夜潮の香りが腰越へ
神奈川県鎌倉市　小脇　沙門

あじさいの青さみながら明月院
群馬県前橋市　齋藤　華蓮

こどものひおじぞうさんをさがす僕
たけい　しょうま

昼寝する大仏を見てひとやすみ
千葉県市川市　田中　優輝

薄暑の日小町通りで道迷う
神奈川県横浜市　堤　智也

夏の空朱色の鳥居を光らせる
千葉県市川市　中村　陽

夏の日にみんなで急ぐのぼり坂
千葉県市川市　堀　千尋

あじさいがまだ咲く前の明月院
千葉県市川市　前田　美遥

せみの声階段長し半僧坊
群馬県前橋市　村田　晴紀

報国寺初夏を感じる竹の群れ
千葉県市川市　柳澤　莉緒

潮風と一緒に届く花火かな
神奈川県鎌倉市　吉田　有希

（順不同）

鎌倉の四季折々を十七文字に・・・
鎌倉俳句&ハイク実行委員会
https://www.kamakura-haiku.com/
＜事務局＞
公益財団法人鎌倉市芸術文化振興財団内
〒247-0056　鎌倉市大船 6-1-2
TEL 0467(30)9237